

PRESS RELEASE

2020年3月4日

アッヴィ、2020年版日本における「働きがいのある会社」ランキングにて 大規模部門の企業カテゴリーにおいて11位にランクイン

- 昨年よりランクを上げ、3年連続、大規模部門でベストカンパニーに選出
- 社員の自主性とオーナーシップを尊重し、柔軟な働き方を推進
- My Journey, My Choice(働き方、生き方を自ら選択する)を掲げ、取り組みを展開

アッヴィ合同会社(本社:東京都港区、社長:ジェームス・フェリシアーノ)は、Great Place to Work Institute Japan(以下、GPTW ジャパン)が2月26日に発表した、2020年版日本における「働きがいのある会社」ランキングで、参加企業499社のうち、従業員1,000人以上の大規模部門において、昨年より順位を2つ上げ、11位にランクインしました。アッヴィはこれまでに、中規模部門での2回の選出と合わせて5回ベストカンパニーに選出されています。また、大規模部門では今年で3年連続の選出となりました。

アッヴィでは、社員の自主性とオーナーシップを尊重し、柔軟な働き方ができるよう、東京本社移転を機に業務に応じた最適なスペースが選択できるアクティビティ・ベース型ワークスペース(ABW)の導入、機能的で快適な服装で働くことができる新ドレスコード「ドレス・フォー・ユア・デイ」(その日の服装をあなたがきめる)の導入、また、コアタイム無しフルフレックス制度やMRの居住地選択制度なども導入し、アッヴィの働き方改革を推進しています。

アッヴィの働き方改革の核となる考え方は、「My Journey, My Choice」です。これは、どんなバックグラウンドを持った人も、どんなライフ・ステージにあっても、アッヴィでの働き方・生き方を自ら選択することで、働きがい・生きがいを感じながら、成長に挑戦し続けることを意味します。

ベストカンパニー選出を受けて、社長のジェームス・フェリシアーノは、次のようにコメントしました。「2013年の会社の設立から7年が経ちました。その間、着実に成長し、今では1,200人を超える社員が患者さんの笑顔を願い、一人ひとりの人生をもっと豊かなものにするために、自身の仕事に取り組んでいます。アッヴィでは、経営の中期計画のなかに『選ばれる会社になる』を掲げ、自分らしく働くことができ、持っている能力を最大限発揮し、困難な課題に挑戦していけるインクルーシブな職場環境づくりをこれからも推進していきます」

GPTW および調査についての詳細は、こちらからご覧いただけます。<http://www.hatarakigai.info>



アッヴィについて

アッヴィは、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業です。世界で最も複雑かつ深刻な疾患に対する、革新的な先進治療薬の開発を行っています。その専門知識、献身的な社員、イノベーション実現に向けた独自の手法を通じて、免疫疾患、がん、ウイルスおよび神経疾患の4つの主要治療領域での治療を大きく向上させることをミッションに掲げています。世界中の人々が持つ健康上の課題への解決策を進歩させるため、75カ国以上の国でアッヴィ社員が日々取り組んでいます。アッヴィの詳細については、www.abbvie.com をご覧ください。Twitter アカウント [@abbvie](https://twitter.com/abbvie)、[Facebook](https://www.facebook.com/abbvie)、[LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/abbvie) や [Instagram](https://www.instagram.com/abbvie) でも情報を公開しています。

日本においては、1,200人を超える社員が、医療用医薬品の開発、輸入、製造販売に従事しています。自己免疫疾患、新生児、肝疾患、神経疾患、がんの各領域を中心に、患者さんの生活に大きく貢献できることを願っています。詳しくは、www.abbvie.co.jp をご覧ください。